

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	黄砂・微小粒子状物質(PM2.5)対策		
所管課	環境局環境監理部環境保全課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成23年度		福岡市が大陸に近く、黄砂等の越境大気汚染に対する市民の関心や不安が高かったことから、平成23年8月に福岡市黄砂影響検討委員会(現:福岡市PM2.5・黄砂影響検討委員会)を設置し黄砂やPM2.5の予測、情報提供等の検討を開始。
根拠法令	大気汚染防止法		
行政計画	福岡市環境基本計画		

基本計画				
施策コード	主	3-7-1		施策成果指標
	再			
分野別目標	安全・安心で良好な生活環境が確保されている			
施策	日常生活の安全・安心の確保			
事業群	大気環境などの保全			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	市民が黄砂やPM2.5について正しく理解し、健康や生活への影響を未然に防止すること。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> ○福岡市黄砂情報(14回)及び福岡市PM2.5予測情報(2回)を提供した。 ○出前講座やパネル展の開催を通して、PM2.5に対する正しい知識の普及・啓発を行った。 ○平成25～27年度に実施した黄砂・PM2.5に関する健康影響調査について、詳細な解析を行い、その結果についてとりまとめ、公表した。 ○黄砂・PM2.5に関する情報提供に関して7月に市民アンケートを実施し、その結果を踏まえて、よりわかりやすい情報となるよう福岡市PM2.5予測情報の見直しを行った。 ○常時監視に位置づけられるPM2.5の成分分析を国の定めたコア期間を中心に、季節毎に2週間ずつ市内3地点で実施した。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	16,911
歳入	特定財源	0
	一般財源	16,911
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	15,817 19,109
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	15,817 19,109

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・黄砂やPM2.5に関するデータや知見の収集を行い、様々な媒体を用いてわかりやすく正確な情報を提供する。 ・国等と連携したPM2.5の成分分析を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が黄砂やPM2.5に関して正しく理解し、必要に応じて適切な情報を入手する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な予防行動を実践することで、黄砂・PM2.5による健康や生活への影響を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心で良好な生活環境が確保され、市の魅力が向上する。 		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
	安定的な黄砂・PM2.5予測情報の提供(%)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	97.0	100	100	H34年度
		実績	99.7	100	100	100
		達成率	102.8%	100%	100%	100%
	目標					H年度
	実績					
	達成率					
	黄砂・PM2.5予測情報の認知度(%)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		目標	85.0	85.0	100	H34年度
		実績	81.7	96.1%	100	100
		達成率	96.1%	100%	100%	100%
	目標					H年度
	実績					
	達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	メガソーラー発電の推進	
所管課	環境局環境政策部エネルギー政策課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 平成23年の東日本大震災を契機としたエネルギー政策のあり方が問われている中、太陽光等の再生可能エネルギーへの注目が高まり、エネルギー対策の観点からも福岡市のよう な都市型の地方自治体にあっても、単にエネルギーを消費するだけでなく、自ら創意工夫をしてエネルギーを創り出す街へと変化していくことが必要となったため。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	エネルギー政策基本法、再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法	
行政計画	福岡市環境・エネルギー戦略	

基本計画		
施策コード	主 再	4-1-1
分野別目標		人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている
施策		地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築
事業群		再生可能エネルギー等の導入

施策成果指標
 ○再生可能エネルギーの設備導入量
 (H28年度: 70,000kW, H34年度: 110,000kW)
 ※太陽光発電のみの設備導入量

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 市民, 事業者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか メガソーラー発電による再生可能エネルギーの地産地消

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○リース方式で設置したメガソーラー発電所全5箇所の運営及び固定価格買取制度(FIT)により発電した電力の売電を実施 ・大原メガソーラー発電所(西部中田埋立場): H25.2 発電開始 ・蒲田メガソーラー発電所(東部武節ヶ浦埋立場跡地): H26.3 発電開始 ・青果市場太陽光発電所: H28.3 発電開始 ・西部水処理センター太陽光発電所: H28.4 発電開始 ・新西部水処理センター太陽光発電所: H28.4 発電開始
-----------------	--

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	189,502
歳入	特定財源	275,722
	一般財源	▲ 86,220
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	68,984 189,933
歳入	特定財源	102,069 260,567
	一般財源	▲ 33,085 ▲ 70,634

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)																																																																																			
	・他局部への導入の働きかけ ・市民, 事業者へのPR	再生可能エネルギーの導入が促進される	再生可能エネルギーの設備導入量が増え, 市内の電力使用量のうち, 再生可能エネルギー由来の電力使用量が増加する。	自律分散型エネルギー社会の実現																																																																																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">メガソーラーによる発電出力(kW)</td> <td>目標</td> <td>5,320</td> <td>5,320</td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3,000</td> <td>5,320</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>56.4%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	メガソーラーによる発電出力(kW)	目標	5,320	5,320		H 年度	実績	3,000	5,320	-	-	達成率	56.4%	100%			目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">再生可能エネルギーの設備導入量(kW)【太陽光発電のみ】</td> <td>目標</td> <td>62,800</td> <td>70,000</td> <td></td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>102,296</td> <td>108,511</td> <td>105,000</td> <td>110,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>162.9%</td> <td>155%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	再生可能エネルギーの設備導入量(kW)【太陽光発電のみ】	目標	62,800	70,000		H34年度	実績	102,296	108,511	105,000	110,000	達成率	162.9%	155%			目標				H 年度		実績						達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																																	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
メガソーラーによる発電出力(kW)	目標	5,320	5,320		H 年度																																																																																		
	実績	3,000	5,320	-	-																																																																																		
	達成率	56.4%	100%																																																																																				
	目標				H 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																			
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																																		
再生可能エネルギーの設備導入量(kW)【太陽光発電のみ】	目標	62,800	70,000		H34年度																																																																																		
	実績	102,296	108,511	105,000	110,000																																																																																		
	達成率	162.9%	155%																																																																																				
	目標				H 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	市民・事業者の省エネ対策(業務部門)(省エネサポート事業)	
所管課	環境局環境政策部温暖化対策課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 本市において、温室効果ガス排出量の割合が特に多い家庭・業務・自動車の各部門を重点3部門と位置づけ、重点的に施策を実施している。
開始年度	平成19年度	
根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化等に関する法律	
行政計画	福岡市地球温暖化対策実行計画	

基本計画			
施策コード	主	4-1-2	施策成果指標 ○業務部門における延床面積1㎡あたりのエネルギー消費量 (H28年度:0.98ギガジュール[GJ])※福岡市環境基本計画(第三次)における現状値1.08ギガジュール[GJ](H18~H22年度の平均値)に対し約9.2%減)
	再		
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築		
事業群	省エネルギーの推進		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	市内事業者
	対象をどのような状態にしたいのか	市内事業者等へ省エネ対策の手法などの情報提供を実施することにより、二酸化炭素の排出削減を図る。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者を対象とした省エネ講習会を年2回(夏期・冬期)開催し、省エネ事例集を活用した省エネ手法の紹介や国の補助金制度の情報提供を実施 ・省エネに関する情報提供・説明会等を随時実施
	●これまでの経緯	<p>これまで「事業所省エネ技術導入サポート事業」で事業者に省エネのノウハウを持つ業者を紹介し、初期投資なしで光熱水費が削減できる省エネ手法の導入を支援していたが、H27年度からは、H26年度まで行った事業の取組実績を事例集としてまとめ、省エネ手法の情報提供等により事業所の省エネを促進するよう事業を見直した。</p>

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	342
歳入	特定財源	0
	一般財源	342
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	849 534
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	849 534

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ講習会等の開催 ・市ホームページにて省エネに関する情報提供を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ講習会に参加する。 ・省エネ事例集を参考にして実施可能な省エネ対策を検討する。 ・省エネ対策が実施される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務部門におけるエネルギー使用量及び二酸化炭素排出量が削減される。 <p style="font-size: small;">注1: 国等のデータを基に算定する必要があるため、H28年度の集計結果が出るのがH30年度となる。H28年度目標0.98GJ/㎡に対して、H26年度の実績は0.91GJ/㎡であり、既に中間目標を達成している状況であるため、H28年度の目標も達成できる見込みである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 業務部門における二酸化炭素排出量の削減により、人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている。 	
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)
省エネ講習会等の開催回数	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	目標	10	10	-	H年度
	実績	10	11	-	-
	達成率	100%	110%	-	-
民間事業者向け省エネ講習会の参加者数	目標	-	-	120	H32年度
	実績	-	-	-	150
	達成率	-	-	-	-
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
業務部門における延床面積1㎡あたりのエネルギー消費量(GJ)	目標	1.00	0.98	0.87	H34年度
	実績	29年度に集計	30年度に集計(注1)	※H28.12月計画策定により目標値再設定	0.82
	達成率	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-
達成率	目標	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	使用済小型電子機器回収事業	
所管課	環境局循環型社会推進部 資源循環推進課	背景
開始年度	平成25年度	
根拠法令	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	
行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		民間事業者が事業主体となって、北九州市と共同でモデル事業を行ってきたが、平成25年4月の法施行に伴い、市が主体となって本格実施をすることになったもの。

基本計画			施策成果指標
施策コード	主	4-2-1	
	再		
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
施策	循環型社会システムの構築		
事業群	3Rの推進		
			○ごみ処理量 (H28年度:52万トン, H34年度:49万トン) ○リサイクル率 (H28年度:32%, H34年度:36%)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	使用済小型電子機器を排出する市民
	対象をどのような状態にしたいのか	家庭から排出される使用済小型電子機器を市民が自ら回収ボックスへ持ち込む。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	○回収ボックスでの回収 区役所やスーパーマーケット等63か所に設置した回収ボックスで回収を実施した。
		○粗大ごみからのピックアップ回収 回収品目拡大及び回収量増加のため、粗大ごみからのピックアップ回収を行った。
		○民間事業者との連携 宅配便を活用した小型電子機器の回収を行っている民間事業者と協定を結び、広報を行う等により、市で回収しない小型電子機器について再資源化を促進した。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		1,169	
歳入	特定財源	1,169	
	一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		892	1,070
歳入	特定財源	892	1,070
	一般財源	0	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> 回収ボックスで回収を行う。 回収事業について周知を図る(市政だより, ホームページ, ポスター掲示) 回収方法の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が使用済小型電子機器を持ち込みやすくなる。 市民が使用済小型電子機器を資源物として回収できることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が回収ボックスに使用済小型電子機器を持ち込む。 市民が回収対象品目を燃えないごみとして排出しない。 使用済小型電子機器のリサイクル意識が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会が形成されている。 			
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)		
			年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		回収ボックスの設置数(か所)	目標	66	66	66	H 年度
		実績	66	63			
		達成率	100%	95.5%			
		目標				H 年度	
		実績					
		達成率					
		目標				H 年度	
		実績					
		達成率					
		目標				H 年度	
		実績					
		達成率					

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	事業系ごみ資源回収推進事業	
所管課	環境局循環型社会推進部 資源循環推進課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 事業系ごみの資源化にあたっては、自己処理責任のもと、事業者の自主性に委ねるだけでは資源化が進まない現状がある。そのため、事業系古紙をはじめとして、事業者の資源化に向けた取組みを支援する必要がある。なお、平成23年度からは「事業系ごみ資源化推進ファンド」を活用し支援を行っている。
開始年度	平成15年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市一般廃棄物処理基本計画	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	4-2-1		○ごみ処理量 (H28年度:52万トン, H34年度:49万トン) ○リサイクル率 (H28年度:32%, H34年度:36%)
	再			
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
施策	循環型社会システムの構築			
事業群	3Rの推進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 福岡市内の事業者
	対象をどのような状態にしたいのか 事業者が排出する事業系可燃ごみの内、約45%を占める紙類、約25%を占める食品廃棄物の資源化を推進し、ごみとして処理するのではなく、確実にリサイクルする状態にする。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 事業系ごみ資源化推進ファンドを活用し以下の事業を実施 ○事業系ごみ資源化情報発信事業(H24.3月～HP作成、資源化情報の発信、古紙回収マッチングサービス、ルールブックの配布、もったいない!食べ残しをなくそう福岡エコ運動等) 【古紙の資源化に関する事業】 ○事業系古紙回収推進事業(H15年～関連業界との連携による効率的な古紙回収システムの構築・拡大) ○資源物回収協定制度(H23年～古紙回収業者との協定締結、市HPでのPR) 【食品廃棄物の資源化に関する事業】 ○事業系食品廃棄物リサイクル推進事業(H21年～25年リサイクルルート構築支援、H26年～食品リサイクル施設を活用した啓発・施設見学会等) ○事業系食品リサイクル支援モデル事業(H23年～27年)
----------	--

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計	18,531	
歳入	18,531	
特定財源	0	
一般財源	0	
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H27	H29
歳出合計	3,274	18,027
歳入	3,274	18,027
特定財源	0	0
一般財源	0	0

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・市内事業者への事業系ごみ資源化発信サイトの広報及び情報発信を行う ・環境活動を行う団体へ補助金を交付する ・補助金交付団体をサポートする ・食品関連事業者への啓発 ・もったいない!食べ残しをなくそう福岡エコ運動の広報啓発を行う ・福岡エコ運動協力店を活用し、食品ロス削減に取り組む	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・古紙・食品廃棄物のリサイクルに取り組む事業者が増え、事業系ごみのリサイクル促進が定着する。 ・飲食店等での食べ残しが減り、ごみの排出量が削減する。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・古紙・食品廃棄物のリサイクル量が増える。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・循環型社会が形成されている。																																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">古紙マッチングサービス利用申し込み件数</td> <td>目標</td> <td>70</td> <td>70</td> <td rowspan="3">70</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>70</td> <td>80</td> <td rowspan="2">166,602</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>114.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">メールマガジンによる情報発信数</td> <td>目標</td> <td>6</td> <td>6</td> <td rowspan="3">6</td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7</td> <td>6</td> <td rowspan="2">18,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>116.7%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	古紙マッチングサービス利用申し込み件数	目標	70	70	70	H年度	実績	70	80	166,602	達成率	100%	114.3%	メールマガジンによる情報発信数	目標	6	6	6	H年度	実績	7	6	18,000	達成率	116.7%	100%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">事業系古紙リサイクル量(t)</td> <td>目標</td> <td>148,602</td> <td>150,392</td> <td rowspan="3">152,182</td> <td>H37年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>173,364</td> <td>集計中</td> <td rowspan="2">166,602</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>116.7%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業系食品廃棄物リサイクル量(t)</td> <td>目標</td> <td>5,100</td> <td>6,400</td> <td rowspan="3">7,700</td> <td>H37年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6,470</td> <td>集計中</td> <td rowspan="2">18,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>126.9%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	事業系古紙リサイクル量(t)	目標	148,602	150,392	152,182	H37年度	実績	173,364	集計中	166,602	達成率	116.7%	-	事業系食品廃棄物リサイクル量(t)	目標	5,100	6,400	7,700	H37年度	実績	6,470	集計中	18,000	達成率	126.9%	-
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																			
		H27年度	H28年度		H29年度	最終年度																																																																				
古紙マッチングサービス利用申し込み件数	目標	70	70	70	H年度																																																																					
	実績	70	80		166,602																																																																					
	達成率	100%	114.3%																																																																							
メールマガジンによる情報発信数	目標	6	6	6	H年度																																																																					
	実績	7	6		18,000																																																																					
	達成率	116.7%	100%																																																																							
指標の内容	年度	実績		目標																																																																						
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																					
事業系古紙リサイクル量(t)	目標	148,602	150,392	152,182	H37年度																																																																					
	実績	173,364	集計中		166,602																																																																					
	達成率	116.7%	-																																																																							
事業系食品廃棄物リサイクル量(t)	目標	5,100	6,400	7,700	H37年度																																																																					
	実績	6,470	集計中		18,000																																																																					
	達成率	126.9%	-																																																																							

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	ふくおかの環境技術を活かした国際貢献・展開		
所管課	環境局環境政策部環境政策課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成9年度		平成9年に本市で開催されたアジア太平洋都市サミットを契機に準好気性埋立構造「福岡方式」への関心が高まり、アジア諸国を中心に技術者の派遣、現地での技術指導などの国際協力を行ってきた。
根拠法令	なし		
行政計画	福岡市環境基本計画		

基本計画			
施策コード	主	8-6-1	
	再		
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
施策	アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進		
事業群	国際貢献・国際協力の推進		

施策成果指標	○視察・研修生受入人数
---------------	-------------

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	海外の諸都市(海外からの視察・研修生), 民間企業(地場企業)
	対象をどのような状態にしたいのか	海外からの研修生受入れや職員の海外派遣による国際貢献・協力を推進する(公衆衛生の向上と生活環境の改善のため、「福岡方式」をはじめ、本市が有する環境技術の普及を目指す。)。これらの取組みにより、福岡市の知名度やステータスを向上させるとともに、海外の諸都市との関係を構築し、官民連携した事業展開をめざす。

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	○技術者の派遣(廃棄物処理に係る国際技術協力実績) ・派遣者数 95名(12カ国, 57件)【累計】 ※平成28年度は、ミャンマー・ヤンゴン市の埋立場現地調査・協議等に3回(延べ9名)の技術者派遣を実施した。
	○廃棄物埋立技術「福岡方式」や環境施策を学ぶ視察・研修の受入れ【平成28年度】	・研修員 8名(6カ国) ※スリランカ, ソロモン, ナイジェリアなど ・見学者 251名(55カ国) ※タイ, スリランカ, ベトナムなど

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	歳出合計	1,646
歳入	特定財源	0
	一般財源	1,646
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27 H29
	歳出合計	770 5,599
歳入	特定財源	0 3,144
	一般財源	770 2,455

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)
	・「福岡方式」など、福岡市が有する環境技術を積極的にPRするとともに、これに対するニーズを踏まえ、技術協力を実施する。	・技術協力を実施した地域において環境技術が向上し、その地域の環境が改善される。	・技術協力を受けた地域において、福岡市が有する環境技術を自らの手で活用できるようになり、さらに、それぞれの地域を拠点に、その環境技術が他地域にも広がる。	・アジア太平洋地域における広域的な環境改善が進み、それが本市の環境改善にも寄与する。また、本市の環境都市としての認知度が高まる。
	活動の指標	成果の指標(KPI)		

指標の内容	年度	実績		目標	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
技術協力(職員海外派遣)実施件数(累計)	目標	52	56	59	H29年度
	実績	54	57		59
	達成率	103.8%	101.8%		
	目標				H年度
	実績				
	達成率				

指標の内容	年度	実績		目標	
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
視察・研修受入人数	目標	320	400	350	H32年度
	実績	395	259		350
	達成率	123.4%	64.8%		
	目標				H年度
	実績				
	達成率				